



ホテル外観

○本社所在地：沖縄県石垣市美崎町
4 番地の 9

○事業概要：宿泊業
○常時使用する従業員：212名
(グループ全体・2025年5月時点)

○現在の売上高：19億円
(グループ全体・2024年12月期)

○法人番号：2360001013186

○Web：https://www.miyahira.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
親盛 一功

地域と共に歩み地域と共に成長し
地域の人々から最も信頼される企業グループであり続けたい

宮平観光(美ら花グループ)の、100億円企業への成長は、お客様から「美ら花」(美しい花)と言われるような、社員の成長と豊かさを実現するための挑戦です。「地域と共に歩み成長し、最も信頼される」この石垣島で育んだ理念を、今後は国内外へも展開。それぞれの地域に深く根ざし、その特性を活かしたビジネスを通じて、国内外の地域社会の発展にも貢献してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2030年の100億達成に向け、リネン工場を建築し中小規模における先進的なビジネスモデルを構築し、他地域にも展開してきます。具体的な目標としては国内外でホテル2店舗、リネンサプライ工場の5拠点を展開及びコンサルティング事業を提供し、総じて100億円企業への成長を目指します。

課題

- ・先進的なリネンサプライ工場のビジネスモデル構築
- ・高度人材(AIシステム、海外展開、M&A)の獲得と育成
- ・国内市場でのホテル/リネンサプライ工場の展開
- ・事業急拡大時の組織体制と外部環境変化への対応
- ・東南アジア、特に台湾/ベトナム/タイへの進出

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

先進的なリネン工場を建設します。本工場ではAIによる高精度な観光需要予測に基づき、リネンの在庫、人員配置、生産工程を最適化します。また、リネンの汚損状況等をAIで分析し、価格交渉力の強化や品質改善に繋がります。このビジネスモデルを国内外の他工場へ提供し、リネンサプライ業界の技術革新を推進していきます。並行して、宮平観光(株)のホテル運営にも本モデルを導入し、リネンサプライ事業とホテル事業の相乗効果によるグループ全体の成長を目指します。

実施体制

代表取締役のもと、グループ内の経営会議にて全体を統括し、重要事項の意思決定と進捗管理を行う。太洋リネンサプライ(株)では新工場建設とAIビジネスモデル開発・運営を担う専門チームを組成。宮平観光(株)には事業拡大とシナジー創出のための事業開発担当を設置する。高度技術等の専門職(AI技術、M&Aアドバイザー、金融機関)など外部専門家とも緊密に連携し、オープンイノベーション体制で目標達成を目指します。

売上高100億円実現の達成時期の内容及び技術要素

- 達成時期と拠点展開マイルストーン：2030年度の連結売上高100億円達成を目指します。
 - ・国内：2028年までに先進的リネンサプライ工場（石垣島新工場含む）2拠点を立ち上げ、2030年までにさらに3拠点を展開。並行してホテル2店舗を新設。
 - ・海外：国内モデル確立後、2029年を目途に台湾へ進出（リネンサプライ1拠点）、その後2031年にベトナムへ1拠点のリネンサプライ工場を展開予定。
 - ・コンサルティング事業：新工場稼働後2年目より、リネンサプライに関連するAI活用ノウハウをパッケージ化し、国内リネンサプライ事業者向けに提供開始します。
- 事業ポートフォリオ（2030年度、100億円達成時イメージ）
 - ・リネンサプライ事業（国内）：40億円（新工場含む）
 - ・リネンサプライ事業（海外）：20億円
 - ・ホテル事業（国内）：35億円
 - ・AIコンサルティング・その他：5億円
- 先進的リネン工場のAI活用詳細
 - ・需要予測AI：過去の宿泊実績、航空・船舶予約状況、気象予報、地域イベント情報、SNSトレンド等を統合分析し、リネン種類別必要量を高精度で予測。
 - ・生産最適化AI：予測需要に基づき、洗濯・乾燥・仕上げ工程の自動スケジューリング、人員配置の最適化、エネルギー消費量の最小化を実現。
 - ・汚損・破損分析AI：画像認識技術を用い、リネンの損耗状況を自動記録・分析。ホテル毎の傾向を把握し、適切なリネン交換サイクルの提案や損耗原因の特定による品質改善、価格交渉力の強化に繋がります。

